

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	3行目
事業名	生物の生息・生育環境のモニタリング及び評価		河川名	共通		
府 県		市町村		地先		

●現状の課題

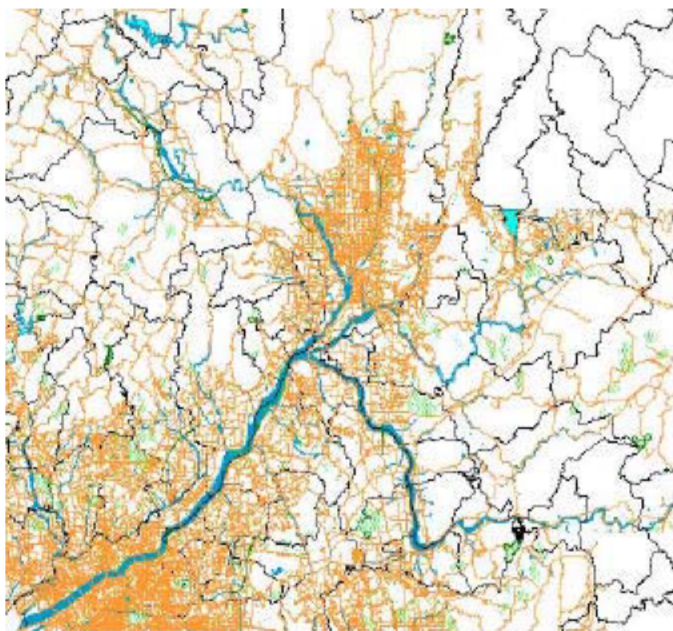
これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向（水域～河川敷～河川区域外）に連続性が分断されている。

さらにダム・堰等の横断工作物により縦断方向（山～川、湖～海）に不連続になっている。

●河川整備の方針

今後の河川改修は周辺の地形を考慮し、横断方向及び縦断方向の連続性の修復を目指すとともに、瀬と淵が形成されるなど、多様な形状を持つ河道の復元を図る。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向及び縦断方向の河川形状の修復に伴う 生物の生息・生育環境のモニタリング及び評価

事業の数量 諸元等

・目的・場所に応じてモニタリング計画を策定

・事前・事後調査の実施

・評価・フィードバックの実施

・必要な生物生態の調査

（植生・魚類・底生動物・鳥類等）

・必要な物理環境の調査

（地形変化、冠水頻度、泥厚変化

等）

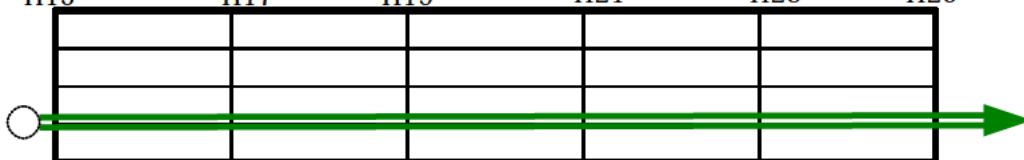
・必要な水環境調査

（水質変化・底質変化等）

●スケジュール

——— 実施

H15 H17 H19 H21 H23 H25



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	3行目
事業名	生物の生息・生育環境のモニタリング及び評価		河川名	共通		
府 県		市町村		地先		

●現状の課題

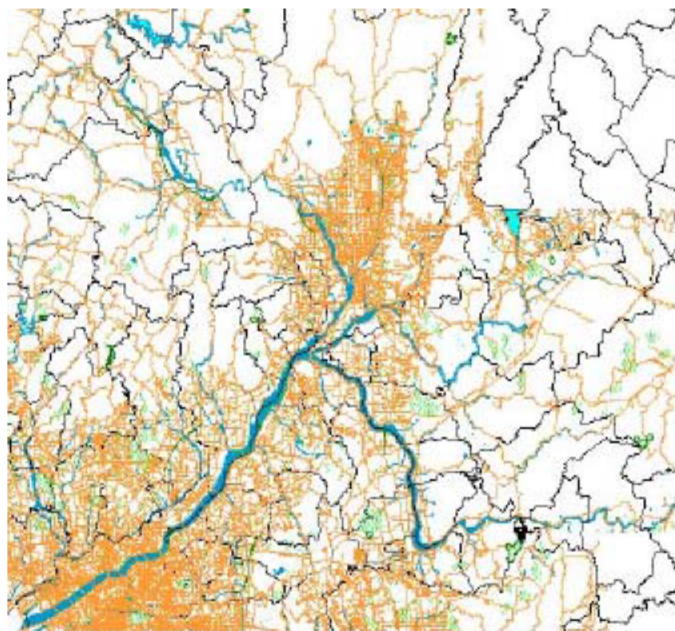
これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向（水域～河川敷～河川区域外）に連続性が分断されている。

さらにダム・堰等の横断工作物により縦断方向（山～川、湖～海）に不連続になっている。

●河川整備の方針

今後の河川改修は周辺の地形を考慮し、横断方向及び縦断方向の連続性の修復を目指すとともに、瀬と淵が形成されるなど、多様な形状を持つ河道の復元を図る。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向及び縦断方向の河川形状の修復に伴う 生物の生息・生育環境のモニタリング及び評価

●事業の数量 諸元等

・目的・場所に応じてモニタリング計画を策定

・事前・事後調査の実施

・評価・フィードバックの実施

・必要な生物生態の調査

（植生・魚類・底生動物・鳥類 等）

・必要な物理環境の調査

（地形変化、冠水頻度、泥厚変化

等）

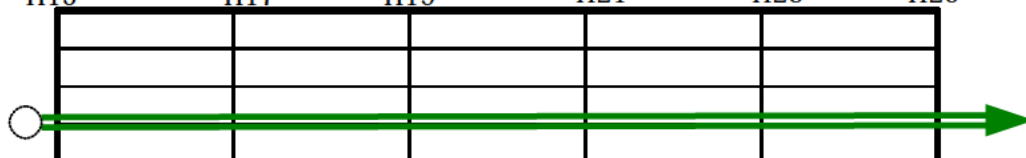
・必要な水環境調査

（水質変化・底質変化 等）

●スケジュール

== 実施

H15 H17 H19 H21 H23 H25



鵜殿ヨシ原 切下げ試験地モニタリングの例



楠葉地区新設ワンド 創出 1年目のモニタリング調査の例

調査項目

魚類：2回 / 年 夏季、秋季

(地曳網、タモ網)

二枚貝：1回 / 年 秋季

(1m × 1mの方形枠)

底生動物：1回 / 年 夏季

(50cm × 50cm方形枠)

植物：1回 / 年 秋季

(植物相調査、植生分布調査、ヘルトラン池外調査、)

水質：2回 / 年 夏季、秋季

(水温、ph、DO、SS、COD、T-N、T-P、PO4-P、Chl-a)

底質：2回 / 年 夏季、秋季

(強熱減量、CODsed、T-S、粒度、泥温、泥色、臭気、性状、混入物、ORP、ph)

プランクトン：2回 / 年 夏季、秋季

プランクトンネット(動植物)

形状：1回 / 年 夏季



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	7行目
事業名	堤防強化に併せて河川形状の修復を実施		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	守口市	地先	庭窪	

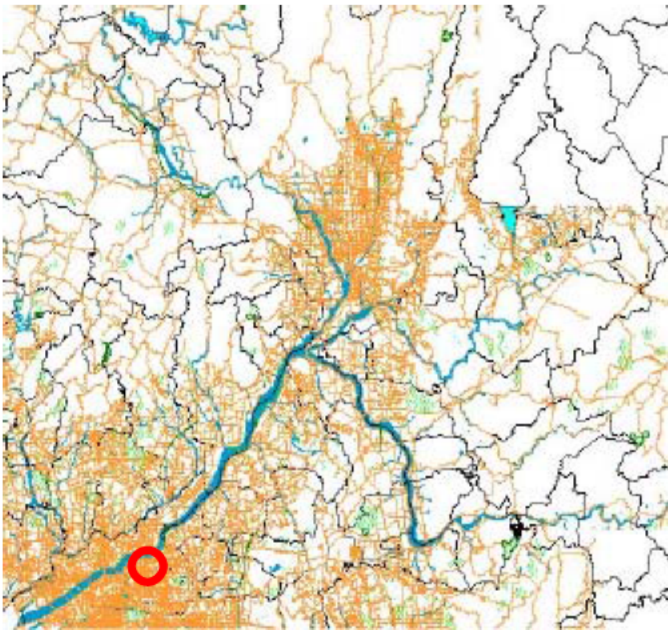
●現状の課題

これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向（水域～河川敷～河川区域外）に連続性が分断されている。

●河川整備の方針

横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

堤防強化を行う箇所において、併せて河川形状の修復を実施

●事業の数量 諸元等

・上流側ワンドの冲出しによる形状改善

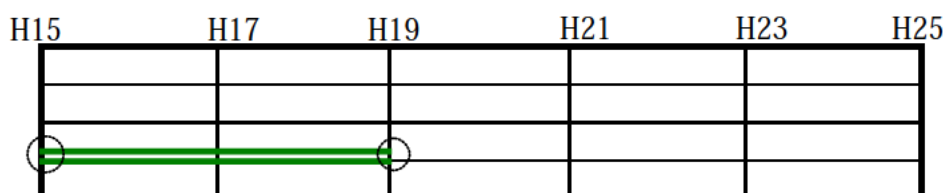
面積 約4ha

●事業費

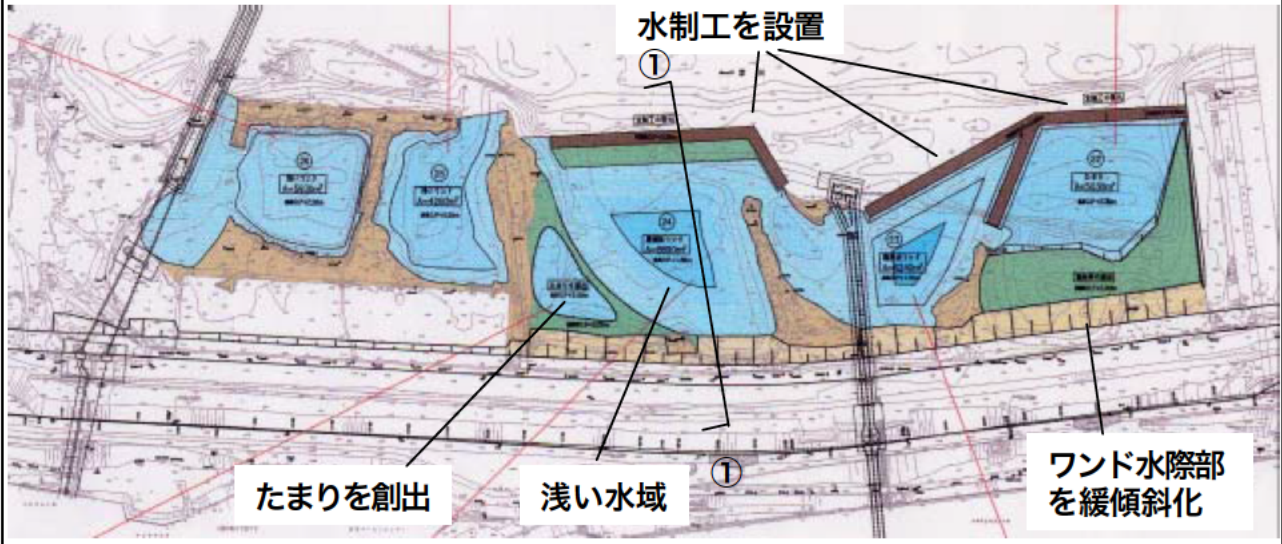
約6億円

●スケジュール

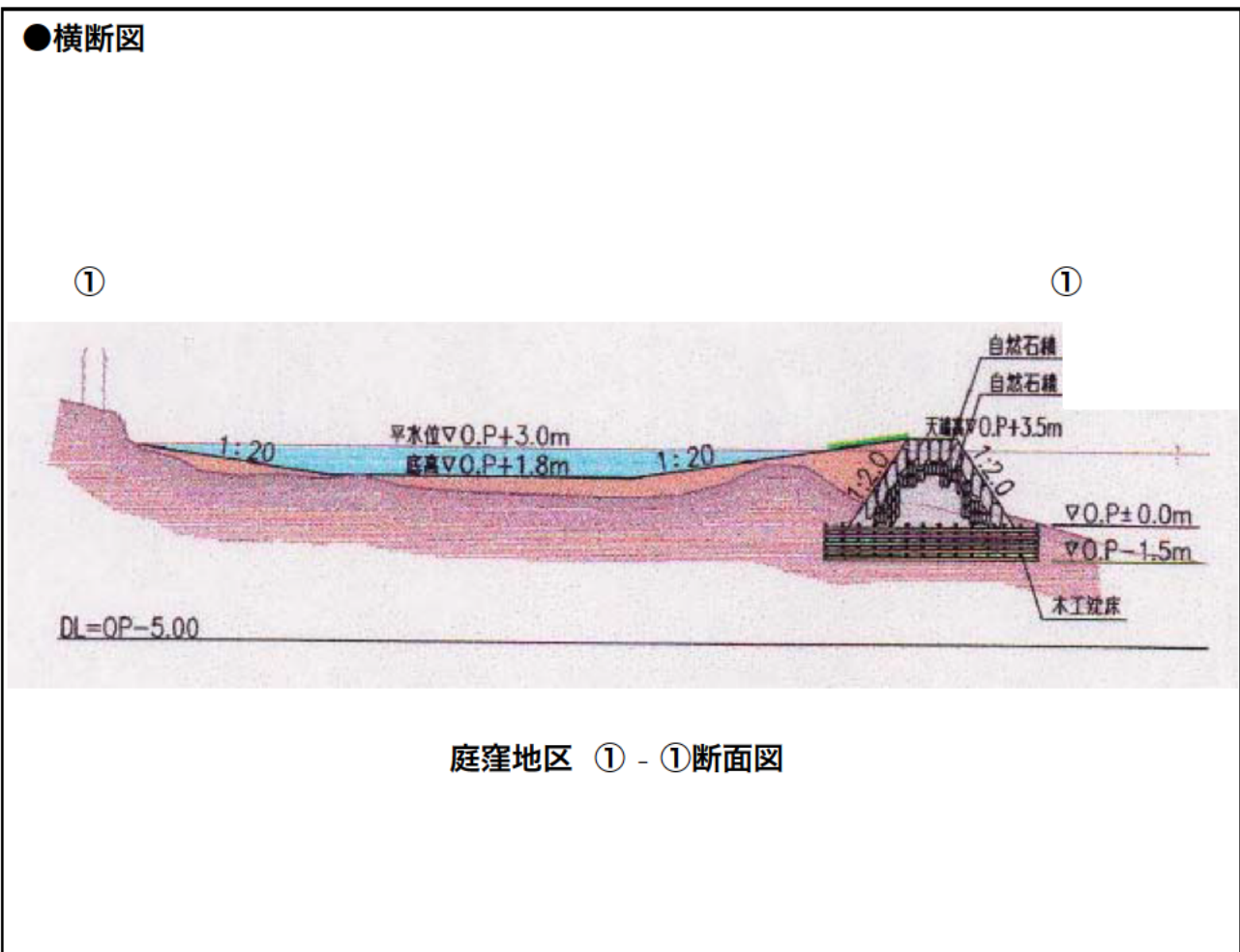
== 実施



●平面図



●横断図



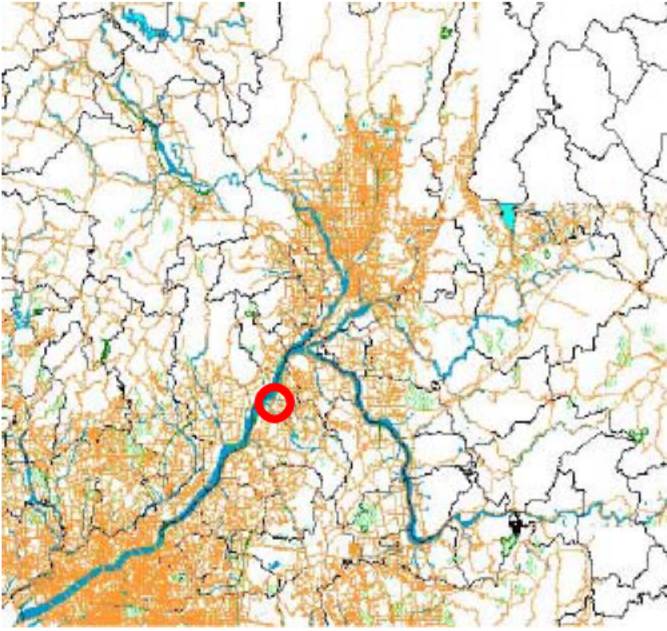
庭窪地区 ① - ①断面図

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	11行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施(わんど・たまり)		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	枚方市	地先	楠葉	

●現状の課題
 これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向(水域～河川敷～河川区域外)に連続性が分断されている。

●河川整備の方針
 横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

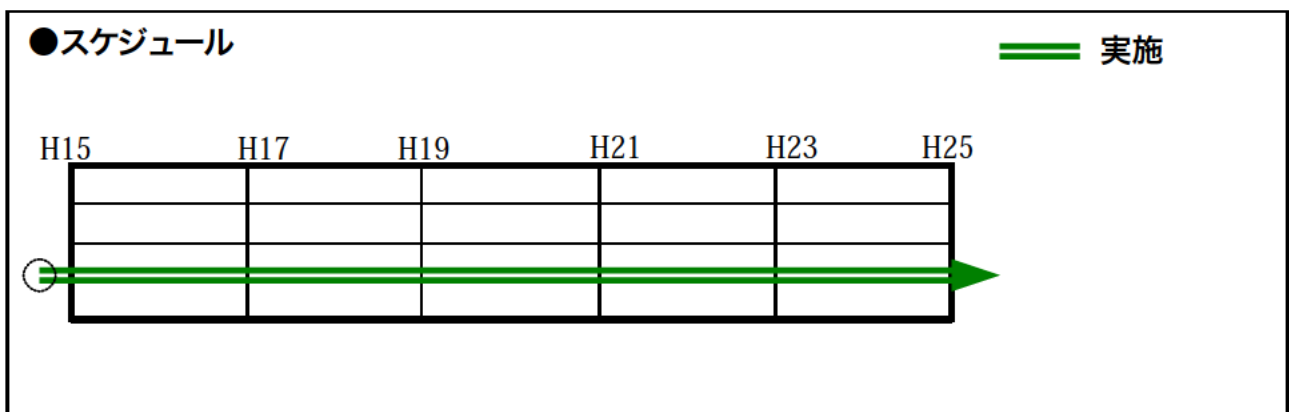
●位置図



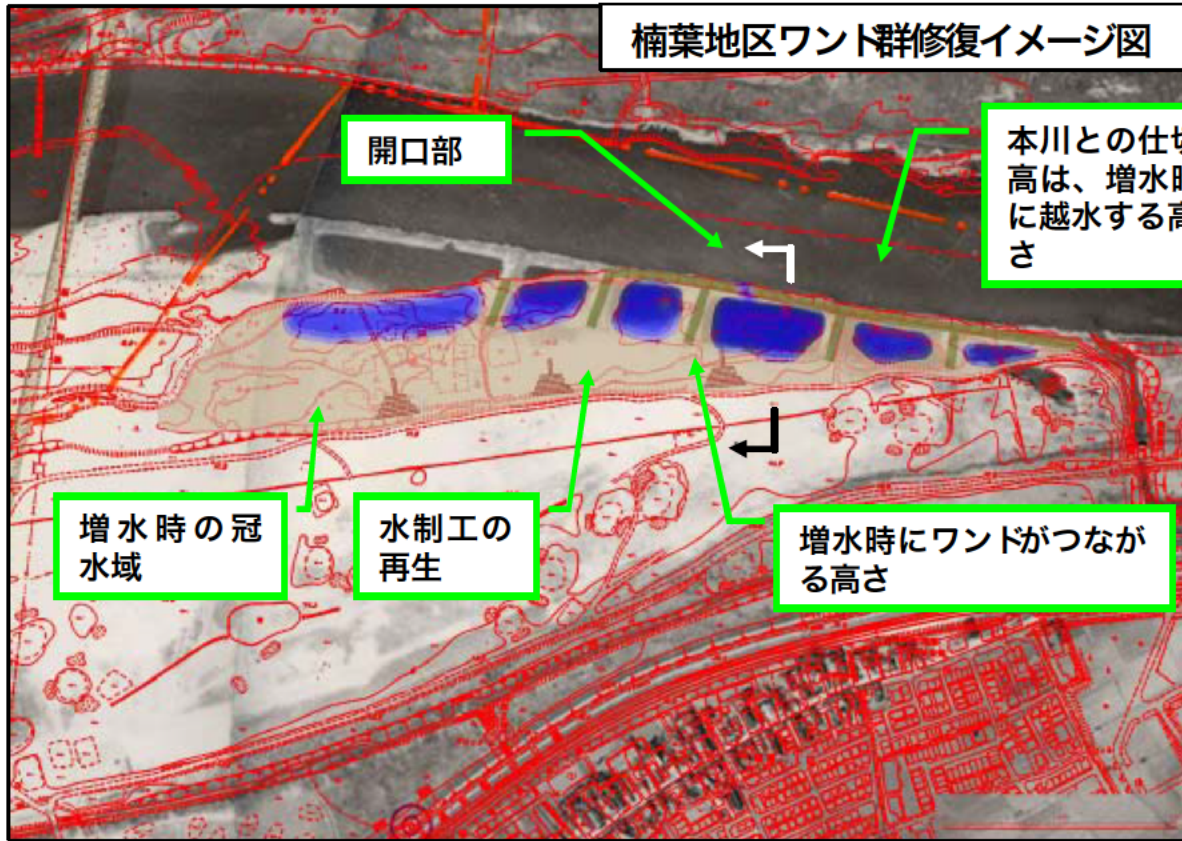
●具体的な整備内容
 横断方向の河川形状の修復の実施
 ワンド・たまり

●事業の数量 諸元等
 試行的に修復したワンド1号、2号の群としての再生に向けたモニタリング調査の実施
 魚類、貝類、底生動物、植物、底質、水質、プランクトン、形状
 ・フィードバックをしながら、下流側ワンド(3号他)の整備
 面積 約5ha

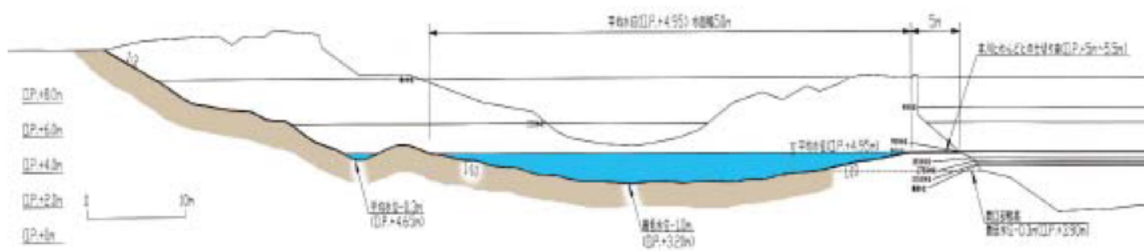
●事業費
 約10億円



●平面図



●横断図



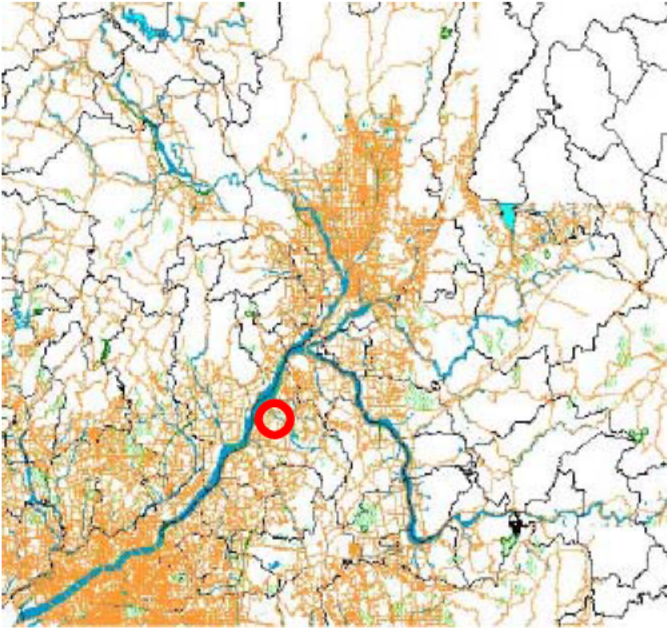
楠葉地区 横断イメージ図 ①—①)

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	11行目
事業名	横断形状の河川形状の修復の実施 (ワンド・たまり)		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	枚方市	地先	牧野	

●現状の課題
 これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向 (水域～河川敷～河川区域外) に連続性が分断されている。

●河川整備の方針
 横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

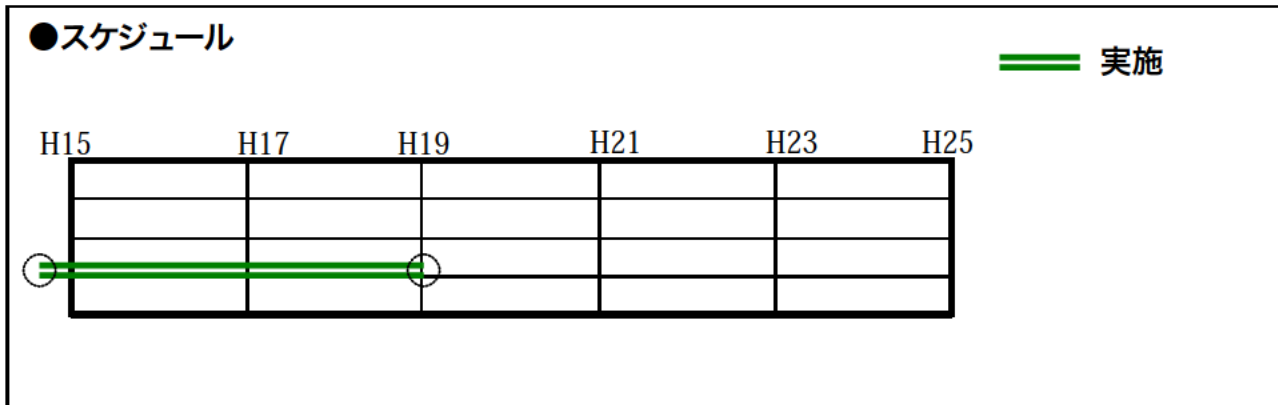
●位置図



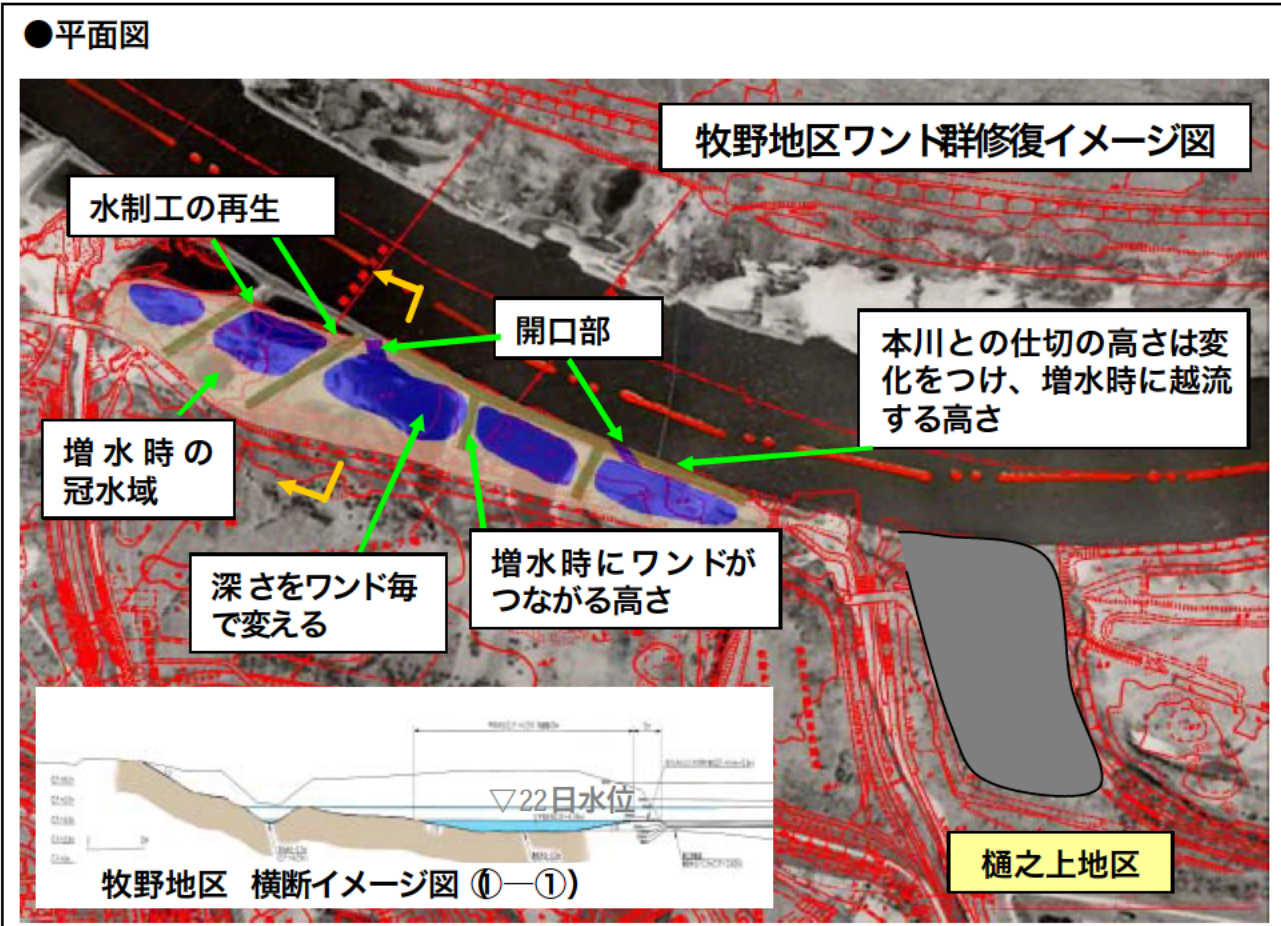
●具体的な整備内容
 横断方向の河川形状の修復
 ワンド・たまり

事業の数量 諸元等
 ・ワンドを試行的に整備
 ・モニタリング調査の実施
 魚類、貝類、底生動物、植物、底質、水質、プランクトン、形状
 ・フィードバックをしながら、群としてのワンドを整備
 面積 約1ha

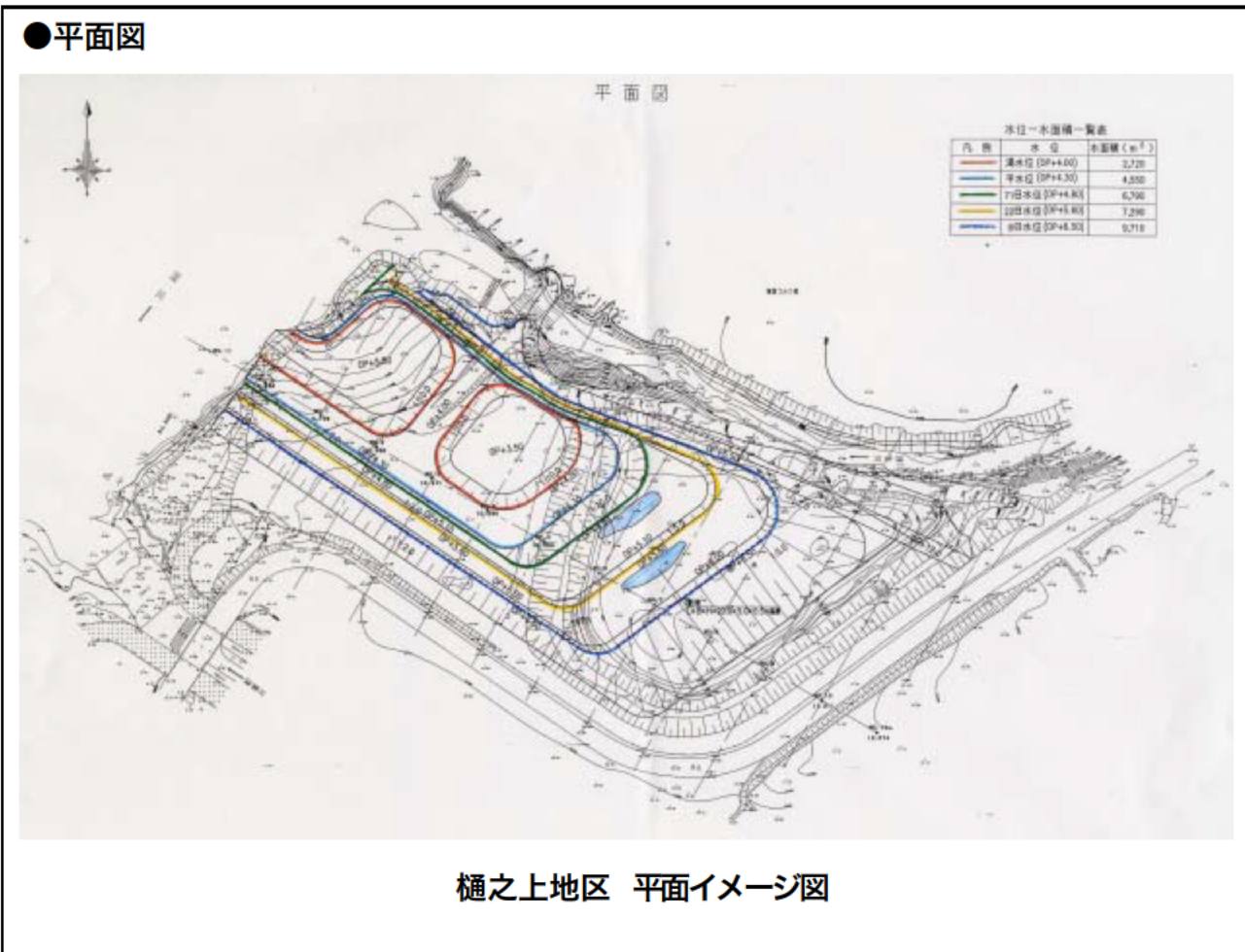
●事業費
 約2億円



●平面図



●平面図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	13行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施 (ヨシ原)		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	高槻市	地先	道鶴、上牧	

●現状の課題

これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向 (水域～河川敷～河川区域外) に連続性が分断されている。

●河川整備の方針

横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復の実施
ヨシ原

●事業の数量 諸元等

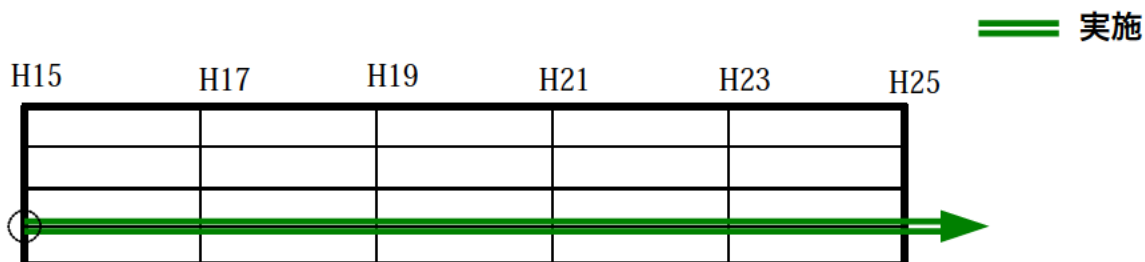
- ・本流側より随時切り下げを実施する。
- ・切り下げ後のヨシ原の回復についてモニタリング調査を実施する。

保全対象エリア面積 約75ha

●事業費

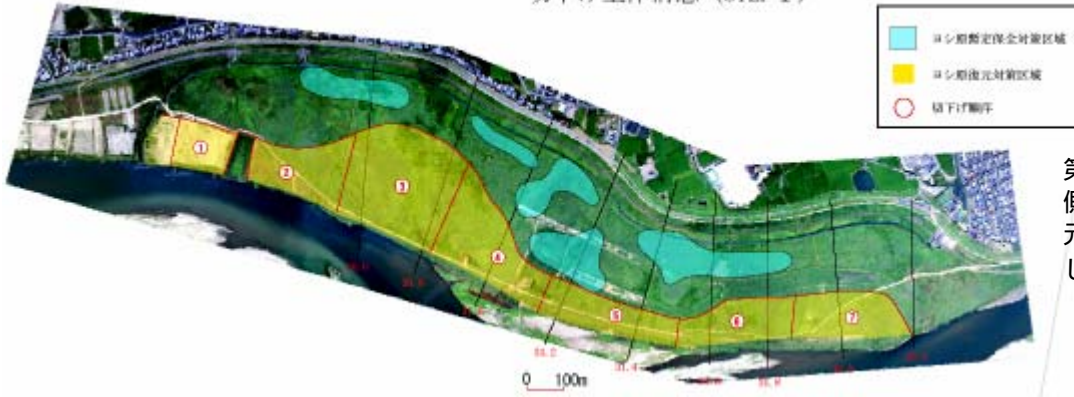
約33億円

●スケジュール



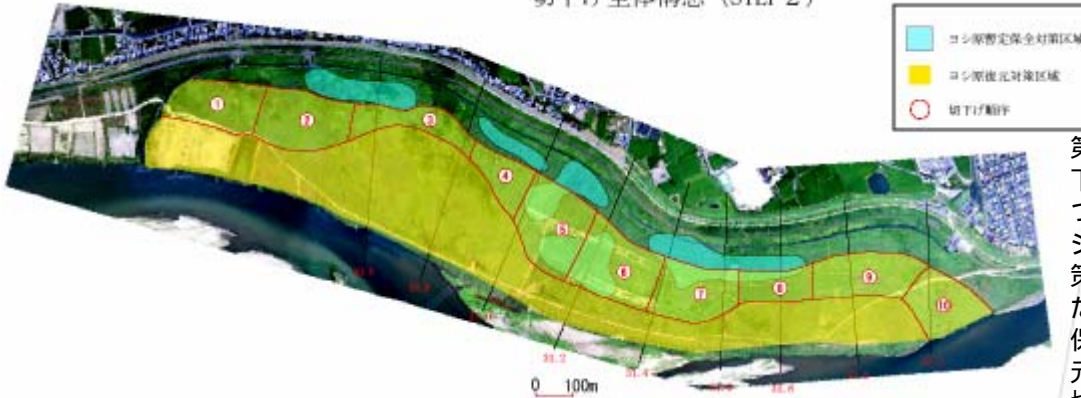
平面図

切り下げ全体構想 (STEP 1)



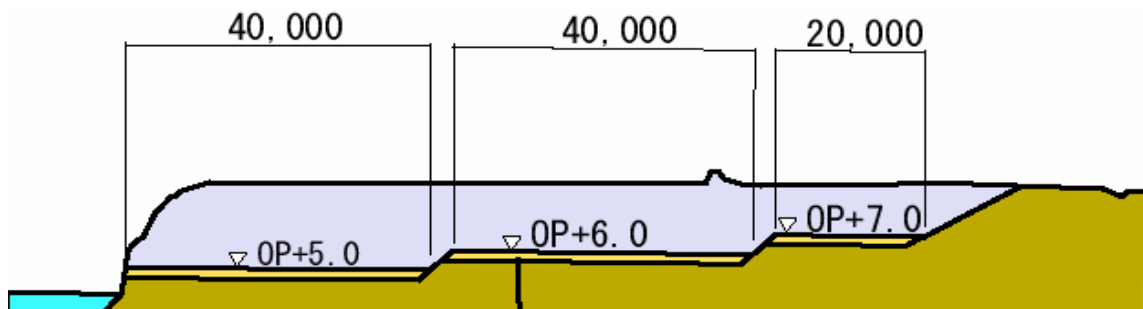
第一段階で本川側を「ヨシ原復元対策区域」として切り下げる。

切り下げ全体構想 (STEP 2)



第二段階で切り下げる堤防側については、「ヨシ原暫定保全対策区域」があるため、ヨシ原の保全・育成・復元を検討しつつ切り下げる。

横断図



ヨシ表土又は現地盤表土
(50cm厚)

断面図

切り下げ実施の一例

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	15行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施(水辺移行帯)		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	大阪市都島区	地先	赤川	

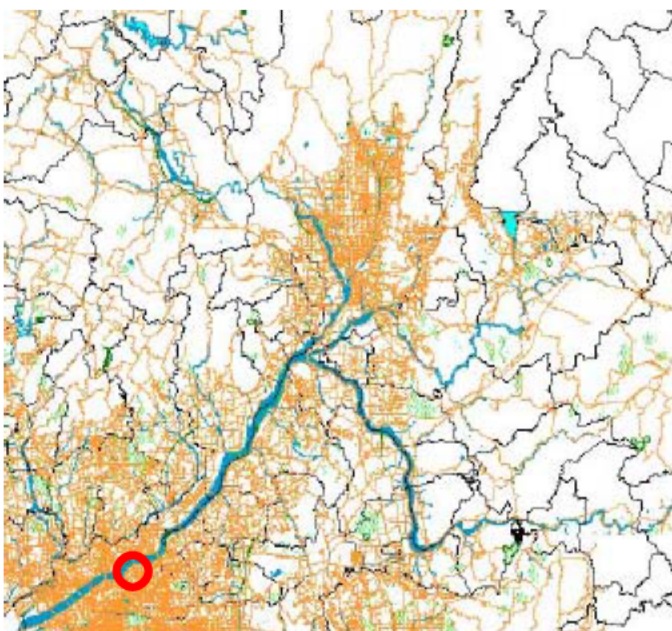
●現状の課題

これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向(水域～河川敷～河川区域外)に連続性が分断されている。

●河川整備の方針

横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復の実施
水辺移行帯

●事業の数量 諸元等

高水敷を切り下げ凹凸のある水辺移行帯を創出する。

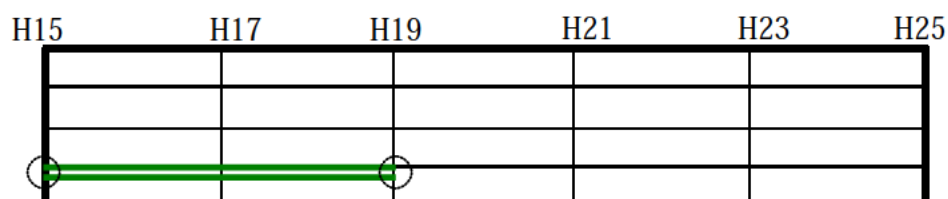
寄り州上を上流から下流へ流水が起ころうなワンド群・水域を創出を図る。

面積 約2ha

●事業費

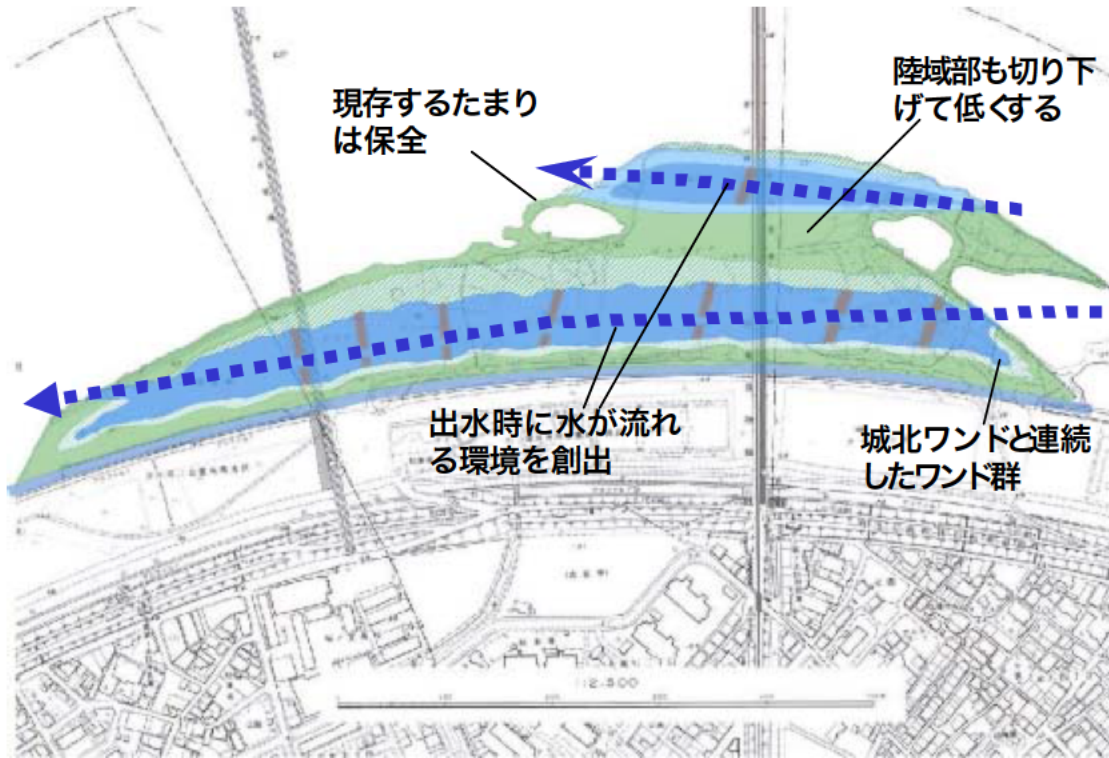
約2億円

●スケジュール



●平面図

水辺移行帯創出 計画図 素案)



かつては水が走り、冠水していた赤川地区



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	16行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施 (水辺移行帯)		河川名	瀬田川		
府 県	滋賀県	市町村	大津市	地先	名神高速道路～洗堰	

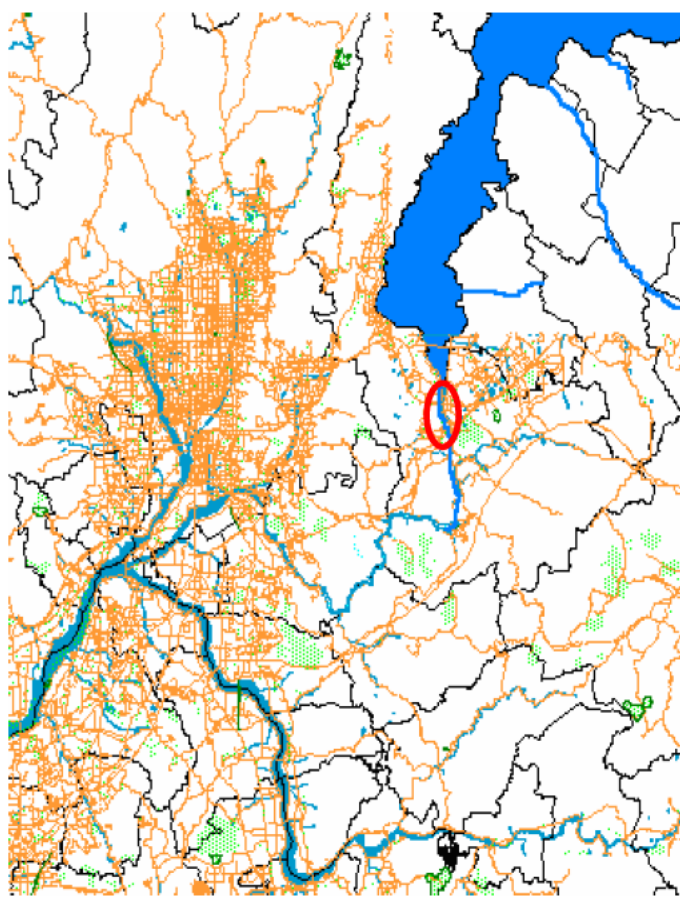
●現状の課題

これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向 (水域～河川敷～河川区域外) に連続性が分断されている。

●河川整備の方針

横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復の実施

水辺移行帯

●事業の数量 諸元等

事業範囲 L= 7km

継続部分 (L= 1.5km)を除きその他は、瀬田川水辺利用者協議会 (仮称)の意見をきき実施。

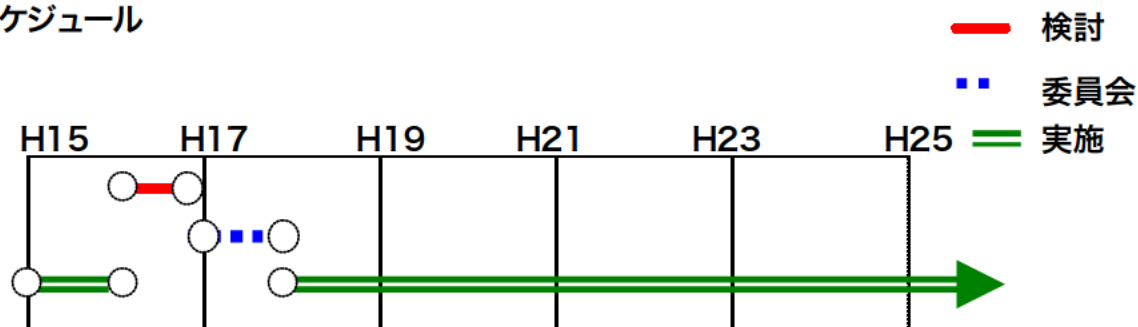
・右 整備計画期間内の数量 諸元等 同上

●事業費

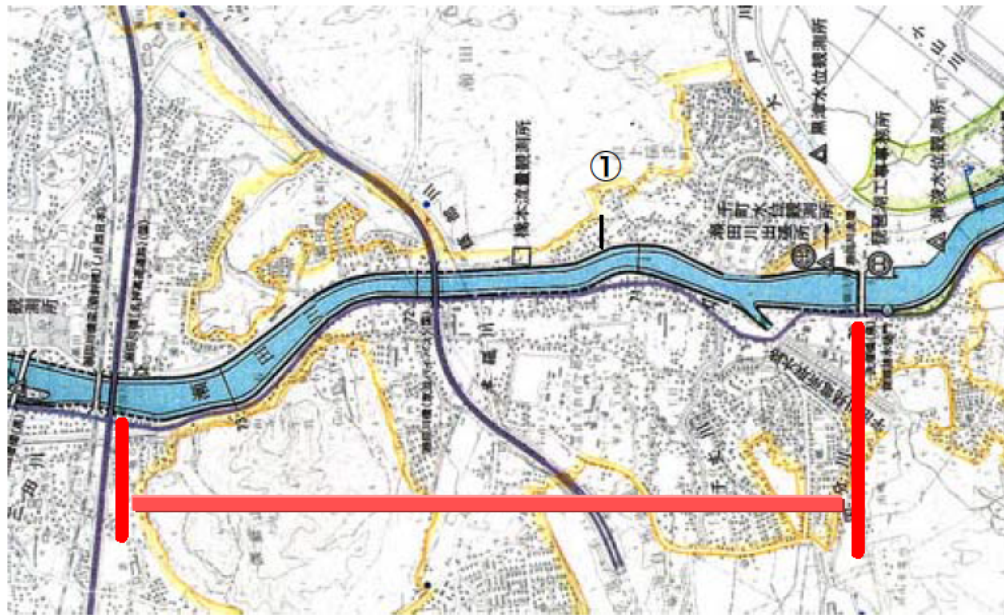
全体事業費 約 26億円

・右 整備計画期間内事業費 約 23億円

●スケジュール

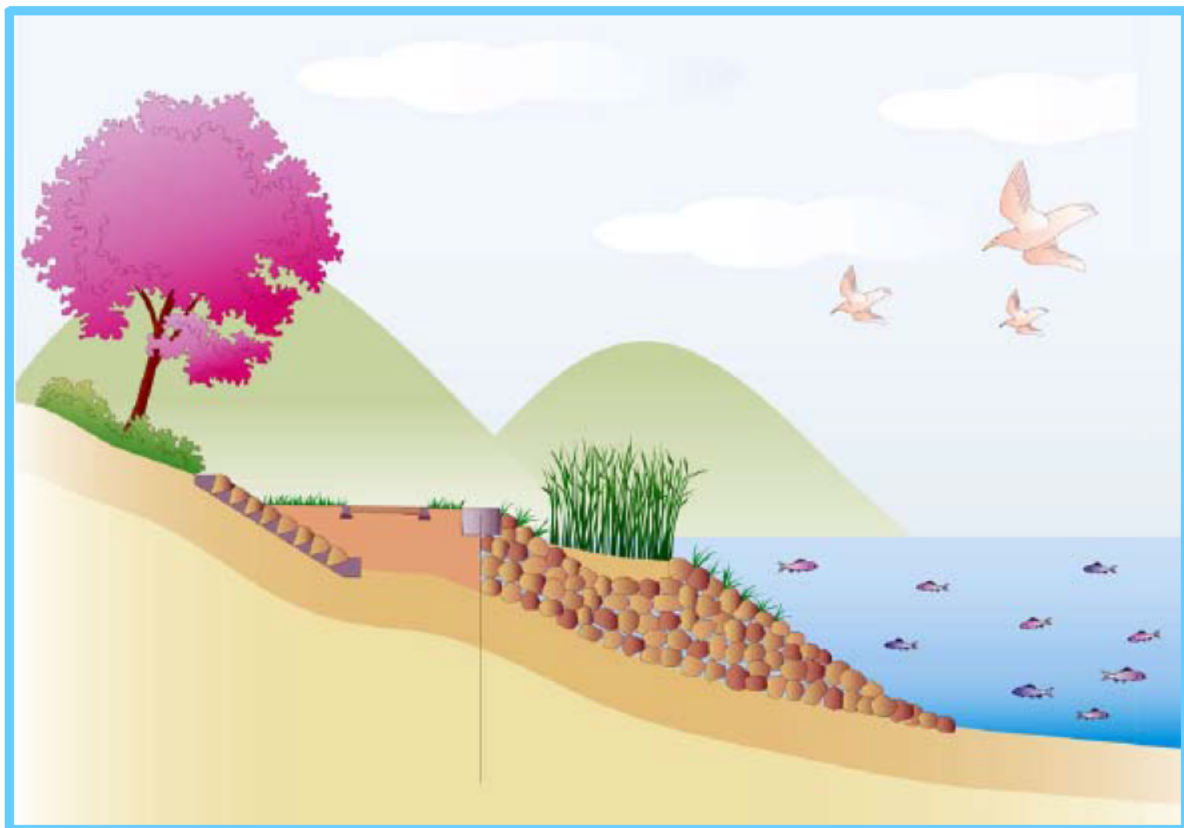


●平面図



●横断図

①のイメージ図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	17行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施(水辺移行帯)		河川名	木津川		
府 県	京都府	市町村	八幡市	地先	上津屋	

●現状の課題
 これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向(水域～河川敷～河川区域外)に連続性が分断されている。

●河川整備の方針
 横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図

●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復の実施
 水辺移行帯

事業の数量 諸元等

- ・高水敷の切り下げ
- ・砂州の河原の復元
- ・水制工 3基
- ・沈床工 8基
- 高水敷き切り下げ 約7万m³

●事業費
 約3億円

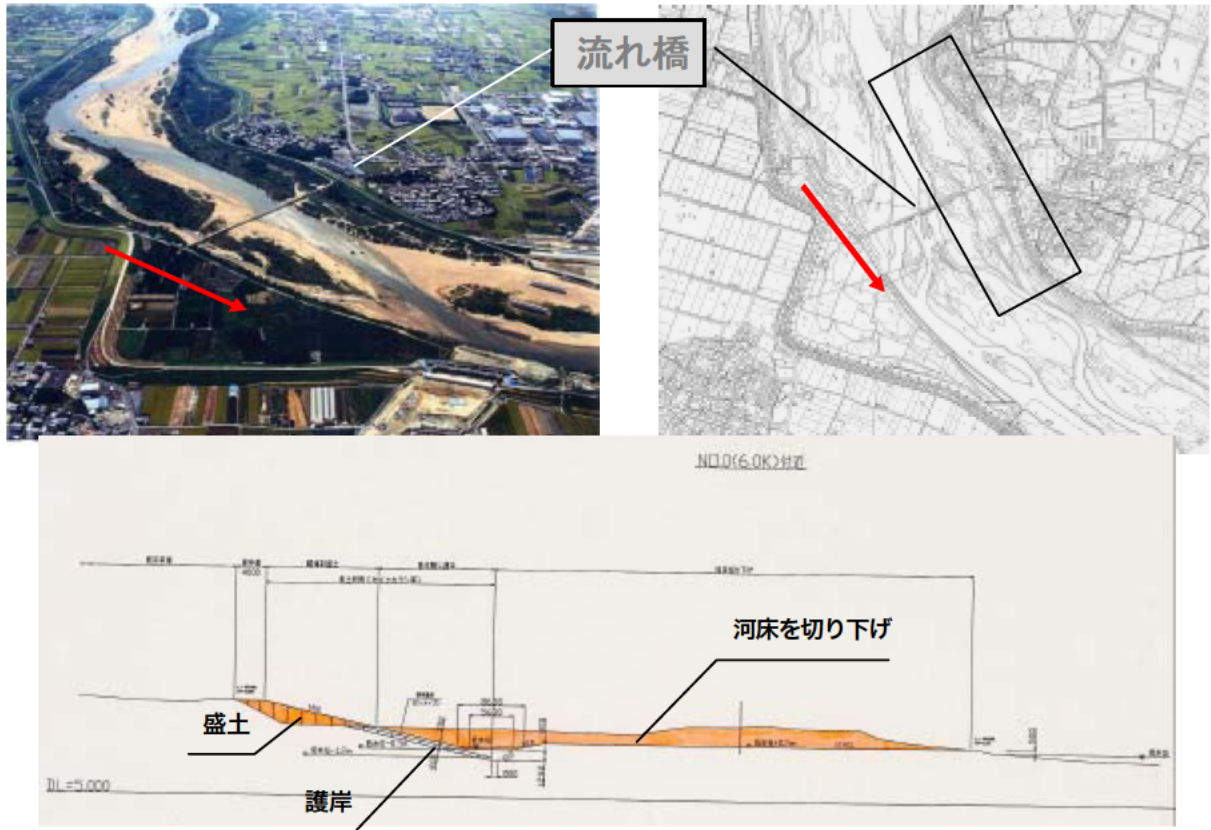
●スケジュール

H15 H17 H19 H21 H23 H25

——— 実施

(Note: A green bar with circles at both ends is shown in the first row of the table, spanning from H15 to H17.)

●平面図・横断図



●イメージ図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 1	ページ	p.5	行	18行目
事業名	横断方向の河川形状の修復の実施 (水辺移行帯)		河川名	琵琶湖 家棟川地区		
府 県	滋賀県	市町村	野洲郡中主町		地先	野田

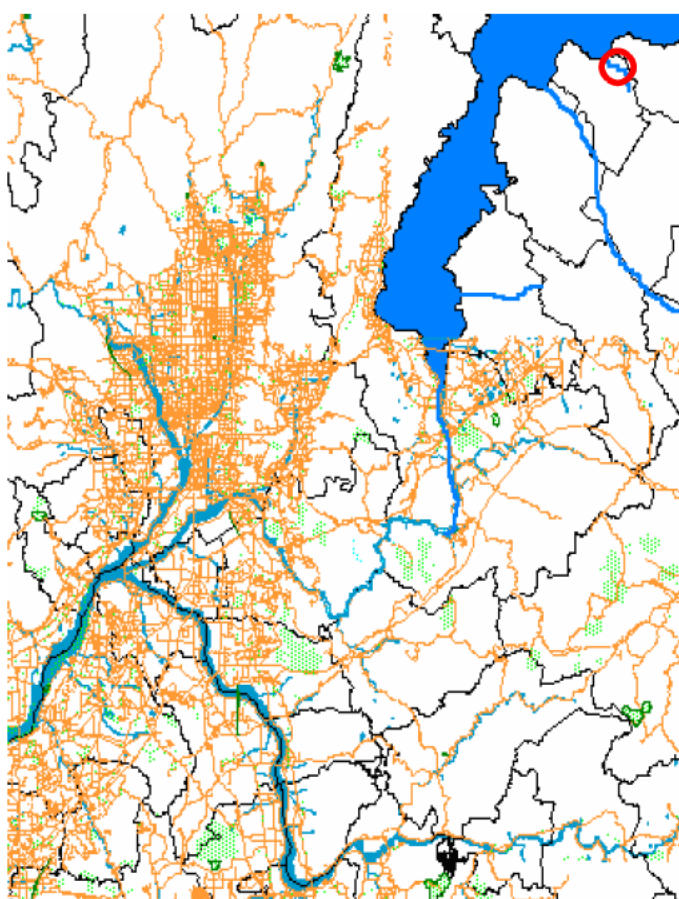
●現状の課題

これまでの河川整備により構築された堤防や高水敷、単純な形状の低水路などによって、河川形状は横断方向 (水域～河川敷～河川区域外) に連続性が分断されている。

●河川整備の方針

横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をなだらかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復の実施
水辺移行帯

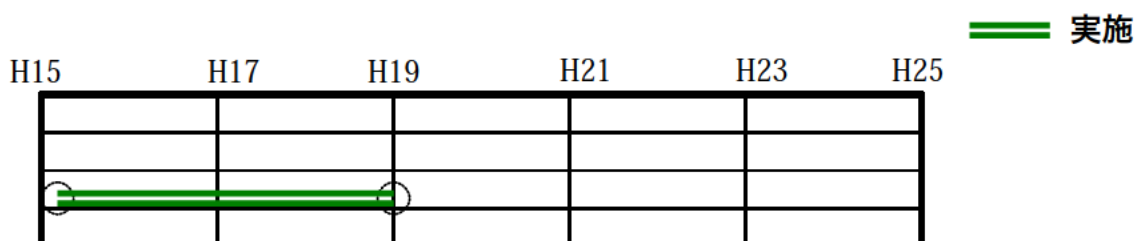
事業の数量 諸元等
フローチャート

・右 整備計画期間内の数量 諸元等
フローチャート

●事業費

全体事業費 約 4億円
・右 整備計画期間内事業費 約 1億円

●スケジュール



イメージパース



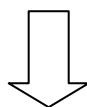
フローチャート

水質に関するモニタリング
・水質浄化 (沈殿による) 効果の
モニタリング実施

生物に関するモニタリング
・整備後からの動植物の種類
数について、経年変化の調査
を実施



継続実施するとともに、
産卵調査などを追加実施



**琵琶湖の保全のため、
モニタリング結果を活用**